日本熱エネルギー貯蔵シンポジウム

THERMAL ENERGY STORAGE FOR A SUSTAINABLE SOCIETY

なぜ今、蓄熱が必要なのか。

蓄熱が拓くエネルギーシステムの未来と社会実装

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大と
エネルギー利用の高度化が求められています。蓄熱は、地域や時間のずれをこえて
熱を活かす技術であり、長期エネルギー貯蔵、電力系統の安定化、産業熱の
脱炭素化を支える基盤技術です。本シンポジウムでは、研究開発、事業化。
制度設計、金融、エネルギーシステム分析の第一線で活躍する専門家とともに、
蓄熱技術の価値と可能性を多角的に考えます。





日時

2026年12月15日（火）
11:00 - 18:00

会場

東京科学大学 蔵前会館 くらまえホール
東京都目黒区大岡山2丁目10 - 1
東京科学大学 蔵前会館1F
（旧·東京工業大学 大岡山キャンパス前）

形式	オンライン配信あり（ハイブリッド開催）
参加費	シンポジウム：無料　意見交換会：4,000円
主催	北海道大学グリーントランスフォーメーション先導研究センター
共催	東京科学大学グリーン・トランスフォーメーション・イニシアティブ（Science Tokyo GXI）
協賛	公益社団法人化学工学会 エネルギー部会 一般社団法人 日本鉄鋼協会サステナブルシステム部会 一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

参加登録

締切日：12月10日（木）

プログラムは裏面をご覧ください。 »»

日本熱エネルギー貯蔵シンポジウム

なぜ今、蓄熱が必要なのか。

プログラム / Symposium Program

THERMAL ENERGY STORAGE FOR A SUSTAINABLE SOCIETY

日時	2026年12月15日（火） 11:00–18:00
会場	東京科学大学 蔵前会館 くらまえホール
形式	オンライン配信あり（ハイブリッド開催）
参加費	シンポジウム：無料 / 意見交換会：4,000円
主催	北海道大学グリーントランスフォーメーション先導研究センター
共催	東京科学大学グリーン・トランスフォーメーション・イニシアティブ（Science Tokyo GXI）
協賛	公益社団法人 化学工学会 エネルギー部会、一般社団法人 日本鉄鋼協会 サステナブルシステム部会、一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、発電量の変動や電力需給の時間差に対応する技術が求められています。
蓄熱はエネルギーを必要な時まで保持し、電力系統の安定化や産業熱の脱炭素化に貢献します。
本シンポジウムでは、蓄熱技術、長期エネルギー貯蔵（LDES）、事業化、金融・制度の課題と社会実装の可能性を議論します。

プログラム

SYMPOSIUM PROGRAM

10:15– 開場・受付

11:00–11:05 開会挨拶
経済産業省 ＧＸ投資促進課・課長補佐／研究開発専門職
永井 孝広 氏

11:05–11:10 趣旨説明
北海道大学大学院工学研究院 能村 貴宏

第一部 蓄熱が拓くエネルギーシステムの未来

11:10–11:30 経済合理性のある蓄熱発電と熱電池
エネルギー総合工学研究所 岡崎 徹 氏

11:30–11:50 先制的なライフサイクル設計評価手法に基づく電力の熱貯蔵の役割についての考察
東京大学・未来ビジョン研究センター 藤井 祥万 氏

11:50–12:10 マイクログリッドにおける蓄熱運用（仮）
北海道大学大学院情報科学研究院 原 亮一

12:10–12:30 企業間の熱融通を実現するエネルギーサービス事業構想の紹介
高砂熱学工業株式会社 カーボンニュートラル事業本部
CN事業1部 大山 孝政 氏

12:30–13:30 休憩

第二部 最前線に立つ蓄熱技術と社会実装への挑戦

13:30–13:50 エネルギービジョンと蓄熱の貢献
東京科学大学 総合研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所
加藤 之貴

13:50–14:15 岩石蓄熱EMS実証開発の取り組み（仮）
株式会社東芝 サーマル＆ハイドロパワー事業部 ヒートサイクル計画・技術部 ヒートサイクル第三グループ 松崎 晃大 氏

14:15–14:40 電気と熱を「貯めて活かす」 ～住友重機械が取り組むLAESと化学蓄熱～
住友重機械工業株式会社 エネルギー環境SBU
事業開発推進部 LAES商用化推進チーム 秋元 慎介 氏
住友重機械工業株式会社 技術本部 技術研究所
環境エネルギー技術センター エネルギーグループ 西村 宗樹 氏

14:40–14:55 産業プロセスの熱マネジメントと蓄熱への期待 ～省エネから「時間を越えた熱利用」へ～
三菱ケミカルエンジニアリング株式会社 プロセスエンジニアリング部（兼RD推進室） 山崎 幸一 氏

14:55–15:10 高温潜熱蓄熱技術の開発状況 ―材料からシステムまで―
北海道大学大学院工学研究院 能村 貴宏

15:10–15:25 電熱変換技術としてのマイクロ波エネルギー伝送技術
中部大学 工学部
（兼務：国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センター）
樫村 京一郎 氏

15:25–15:40 休憩

第三部 LDESの社会実装を支える市場・金融・制度

15:40–16:00 脱炭素電力システムにおけるLDESの価値 ―LDESが実現する系統安定化―
一般財団法人 電力中央研究所
エネルギートランスフォーメーション研究本部 福冨 広幸 氏

16:00–16:20 LDESの実装に向けたファイナンス面の論点（仮）
三井住友信託銀行株式会社 サステナビリティ推進部 テクノロジー・ベースド・ファイナンスチーム 池田 恭彰 氏

16:20–16:50 海外LDESスタートアップ最前線
東北電力株式会社 R&Dイノベーション部 出馬 弘昭 氏

16:50–17:00 休憩

第四部 パネルディスカッション

17:00–18:00 パネルディスカッション

第五部 ネットワーキング

18:00–19:30 名刺交換会・意見交換会

登壇者・演題は変更となる場合があります。

蓄熱が拓く持続可能なエネルギーシステムの将来像を、ともに展望する場へ。